

論点表

令和3年6月21日

1 違法性及び差止請求の判断基準や判断の在り方について

(1) 前提となると考えられる論点

ア 不法行為と差止請求権との要件の異同

イ 人格的利益に基づく差止請求権の成否

ウ 最決平成29年1月31日民集71巻1号63頁の射程

(ア) 「明らか」要件の解釈

(イ) 本案訴訟に射程が及ぶか

(ウ) 検索事業者の提供する検索結果以外の情報の削除に射程が及ぶか

(エ) その他

(2) 違法性及び差止請求の判断基準ないし判断方法

被侵害利益ごとに、①不法行為、②仮処分における差止請求権、③本案訴訟における差止請求権の各場面を想定するなど、場合分けを意識する。

ア 名誉毀損

イ プライバシー

ウ 名誉感情

エ 肖像権

オ 氏名権

(ア) 氏名を冒用されない権利

(イ) 氏名を正確に呼称・表記される利益

(ウ) その他

カ その他の人格権又は人格的利益

(3) 表現の内容や態様を踏まえた違法性等の具体的な判断の在り方

ア プライバシー

(ア) 前科等に関する事案

(イ) 公共性のない事実の公表が問題となる事案

イ 肖像権

(ア) 自らインターネット上に投稿した肖像等の画像等の無断転載

(イ) 被撮影者の同定の要否と程度

(ウ) スポーツ選手に対する盗撮、撮影した写真や動画の投稿等

以上